

助け合いの共済制度と班・支部活動について楽しく・賑やかに学び合う

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

23 年11 月 27 日

万代支部

万代支部は14日、会員の店「山小屋」を会場に共済会

学習会を開催し9名が参加しました。

まず伊藤支部長（不動産賃

貸）より開会の挨拶。続けて共済係の大野さん（靴製造販売）を講師として共済会パンフレットを使った学習会が行われ、加入資格や共済見舞金・祝い金の種類や、年齢により給付金額が変わる点などを確認しながら交流しました。

参加者からは「今まで知らなかった制度を知ることが出来た」という声や、民商共済会の5つの魅力を見て「会員同士のいのちと健康を守る助け合いの共済を発展させる為にも会員を増やそう！」などの意見も出されました。学習会の後には懇親会が行われ、時間が経つのも忘れるほど盛り上がり参加者同士親睦を深めました。

木戸支部

木戸支部は19日、ロイヤル胎内パークホテルを会場に共済会学習会を開催し7名が参加しました。

はじめに小山支部長（クリーニング）より開会の挨拶。その後、共済会パンフレットや資料を使い入院見舞金や安静加療見舞金など制度を学びました。参加者からは「安静加療見舞金の給付対象となる条件は？」などの質問が出されるなど、深め合うことができました。

学習会終了後は美味しい料理を食べながら、消費税インボイスや商売の話など尽きませんでした。

未加入の参加者から「私も加入したい」との声が出され一同大喜び。来年も学習会を開催しようと約束して閉会となりました。



日程

- ・第5回常任理事会 12月 1日（金）
- ・県連いのちと健康を守る学習交流会 12月 3日（日）

女池支部

女池支部で18日、会員の小柳さんの店「スナックやすらぎ」を会場に共済会学習会を開催しました。

島田支部長（島田クリーニング店）や和合婦人部長（和合タイル）らの呼びかけに14名が参加。

支部長の挨拶の後、支部担当三役の菅原さんから民商共済会の制度を中心に、助け合いの共済加入の必要性、重要性の説明がありました。続いて鈴木市議からの市政報告がされ、国保料減免制度の話では市民に寄り添っていない市の姿勢が露呈され、これからの運動の重要性についても議論されました。また、「班支部活動の手引き」を用いて活動の方向性を話し合い、支部会員の要求を拾い上げ、本部長常任理事会での議論に繋げていこうと志気を高めていました。

懇親会に移ると、女池支部らしいアットホームで暖かな雰囲気です。それぞれ自己紹介や近況報告をし、親睦を深めました。このような繋がりを広めようと、地域での会外訪問活動も話題になっていました。

白根支部

白根支部の毎年恒例行事となっている共済学習会。今年も17日（日）に「三川温泉まる」にて開催し13名の会員が参加しました。

最初に藤崎支部長が「共済について学び、分からない所はしっかりと質問して下さい」と挨拶。その後の学習会では共済会理事の山口さんが講師となり進めました。リーフをもとに「共済会が助け合いの共済」であること学び、パンフレットをもとに「どんな時に共済が請求できるか」を学び合いました。

最後はお楽しみの懇親会。「人と人の繋がりで商売が成り立つ。最近ではネットとかあるが基本は変わらない。困った時、行き詰った時は仲間に相談しよう」と交流を深めました。



「和・洋・中の多彩なメニュー」

次郎助たかはし・高橋又夫さん（松浜支部）

北区木崎で食堂を経営しています。店は競馬場インターの近くで開業46年になります。新潟民商には2015年に入会し、現在は月に一度の「記帳会」の会場となっています。パソコンや仕訳、気になる制度など分からない事、知りたいことを記帳会で相談しています。

当店は和食・洋食・中華と多彩で豊富なメニューを揃えており、中でもボリュームのある「オムライス」は特に人気があります。地元のお客のみならず、遠方からのお客もリピーターとなって来店していただいております。席数もあるので大人数でも利用できます。

家族で経営しており、大手に負けない、個人店ならではのサービスをはじめ、居心地の良い「あたたかい店」を心掛けています。是非一度、お越しください。

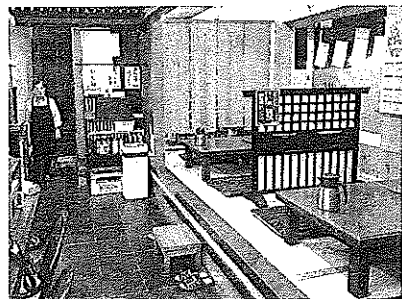
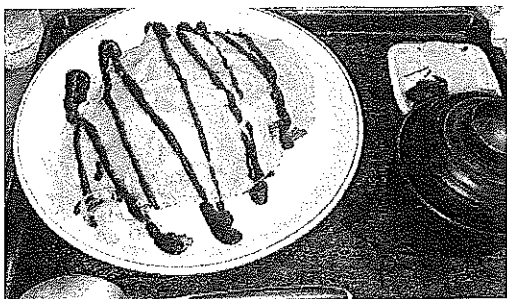
「次郎助たかはし」

所在地 新潟市北區木崎2225

営業時間 午前11時～午後2時

午後5時～午後10時（年末年始休み）

TEL 025・387・3263



新シリーズ・商売頑張る 掲載希望者を随時募集中です

毎週発行の「赤粋ニュース」にあなたのことを掲載しませんか。商売の中心にお店のPRや民商の会員になったきっかけなど掲載します。投稿希望の場合は記事の他に写真もあわせて送付いただくようお願いします。

送り先は

メールアドレス minsyo@gamma.ocn.ne.jp

※投稿する前に事務局ニュース担当まで連絡をお願いします。パソコンが使えない場合は事務局が取材に伺います。

コロナ禍・物価高騰に苦しむ業者に支援を 新潟県に予算要望を提出―新商連―

新潟県商工団体連合会は16日、物価高騰への支援などを求めて、県へ予算要望行動に取り組みました。この行動には新潟民商から5名が参加しました。

冒頭、渡部新商連会長は「物価高騰で中小業者は危機的な状況。まず県から動きをつくってもらいたい」と挨拶。続けて県職員から回答がされた後、討論となりました。

「阿賀野市では納税緩和措置が全く活用されておらず差押えの件数が増えている。納税緩和措置をもっと徹底して欲しい」「チャレンジ補助金などは資力がなければならないので要件緩和を」「インボイスで商売を潰されかねない。国へ中止を求める意見を上げて欲しい」などの要望が次々に出されます。また全事業者対象の直接給付については「県が中小業者を応援しているという姿勢を示す意味でも検討を」と強く求めてきました。

28日には新潟市への予算要望行動が取り組まれます。当日は生の声を届け、みんなで中小業者を守る責務を市に求めましょう。

田部 亀支 「足を出せば新たな発見が必ずある」 3・9市場や新規開業店を訪問行動

亀田支部では19日、黒井支部長と渡部副会長が参加し3・9市場を中心に宣伝行動に取り組みました。

天候にも恵まれ、まずは市場から訪問。野菜を売るお店は兼業農家の方が多く、「今年は天候不順で農作物は全然ダメ。本当に困った」などの声が多く出されます。また雑貨のお店では「50年出店しているが年々お客が減っている」と歴史ある市場の将来を心配する声も出されていました。

その後は商店街などの新規開業店を訪問。美容室や飲食店が多く休みのお店が多かったものの、こんな所にお店が？という発見も。会えたお店では「何か相談ことがあったらいつでも連絡下さい」と訴えて回りました。

黒井さんと渡部さんは「足を出して歩いてみると新しいお店を見つけたりできる。継続して宣伝行動に取り組んでいきたい」と語っていました。

